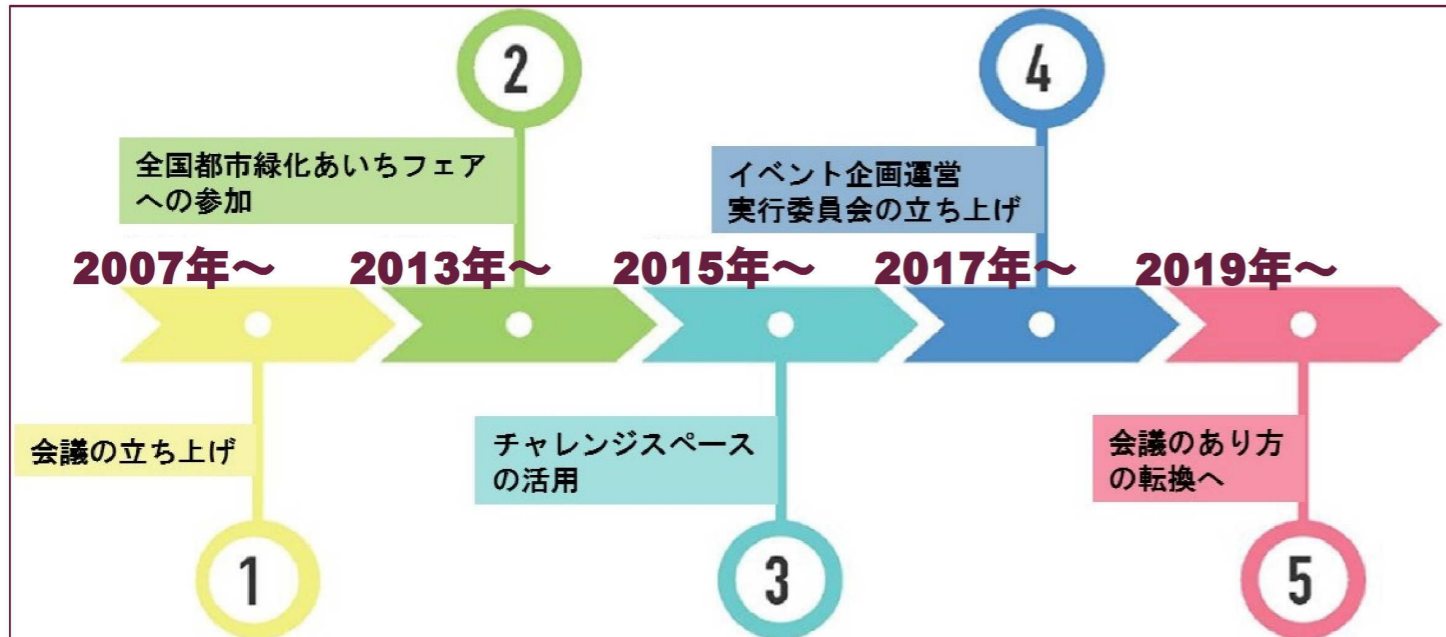


公園マネジメント会議の『あゆみ』



3 チャレンジスペースの活用

公園の更なる活用に向けて、地球市民交流センター以外で公園マネジメント会議会員が活動できる場所（＝チャレンジスペース）を検討するため、現地調査や討論を行いました。お試し企画の実践を通して、活用ルールづくりを行いました。
2017年の夏休み期間には、チャレンジスペース「プール前大屋根広場」にて9日間のイベントを実施し、1800人が参加しました。



4 イベント企画運営実行委員会の立ち上げ

モリコロパーク開園時より県が主催し、公園マネジメント会議分科会が企画運営する「春秋まつり」について、今まで以上に市民の力で実施しよう、という動きが始まりました。
2018年12月、公園マネジメント会議内に市民団体を代表とする「イベント企画運営実行委員会」が立ち上がりました。これにより、2019年モリコロパーク春まつりをもって県主催での「春秋まつり」は終了することとなりました。
2019年3月は県主催・分科会が「モリコロパーク春まつり」を企画運営し、実行委員会が「モリコロパーク桜まつり」を主催しました。また、2019年秋からは実行委員会が「春秋まつり」を主催しています。



5 会議のあり方の転換へ

長きにわたって公園マネジメント会議を継続している中で、「今まで以上に実行力のある組織となるよう、会議のあり方を転換しよう」という議論が始まりました。会員がより公園マネジメント会議の役割を意識するため、ルールブックに発足の経緯や意義を追記しました。
2019年には、活動を終了した分科会がそのまま存続していることが問題提起され、一度すべての分科会を解散した上で、今後の活動を希望する分科会は再度承認を受けて活動することとしました。現在、活動している分科会は、以下の6つです。
また、2020年からモリコロパーク内に計画された「ジブリパーク」の整備工事が始まり、公園としても転換期を迎えることとなりました。

- 愛・地球博理念検証分科会
- 人と感性を育む総合芸術分科会
- 樹木でよみがえれ被災地の緑分科会
- 子どもの遊び場を検討する分科会
- シャララ万博カーニバル分科会
- さくらと緑を愛する分科会



1 会議の立ち上げ

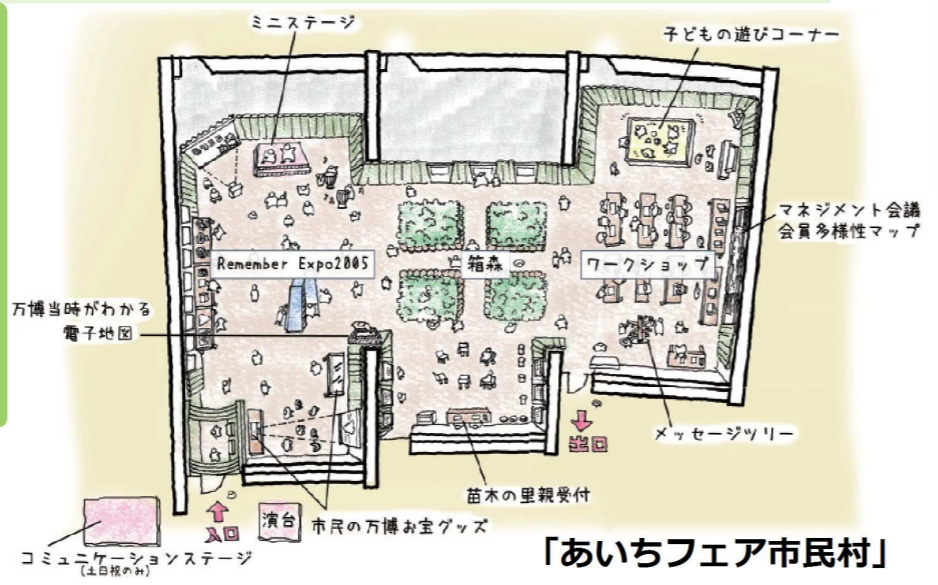
愛・地球博記念公園『基本計画』に基づく公園マネジメント会議は、「愛・地球博」の成果である市民参加・市民協働を継承・発展させ、市民・企業・大学・行政等が協力して公園の管理運営に取り組むための会議として2009年3月22日に発足しました。
2010年10月には、市民協働の拠点施設として重要な「地球市民交流センター」がオープンしました。オープニングイベントは、同時開催されたCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）と協力しながら、約1ヶ月間にわたって公園マネジメント会議会員等が入れ替わりで企画を行いました。
この時期には、「平日の利用拡大」「モリコロパークの健康診断」「東日本大震災の被災地支援」を主なテーマとして議論・実践を行いました。



2 全国都市緑化フェアへの参加

モリコロパークにて2015年9月から11月に開催された「全国都市緑化あいちフェア」に公園マネジメント会議が参加することになりました。「地球市民交流センター」の多目的スタジオの3部屋を「あいちフェア市民村」と名付け、公園マネジメント会議会員で下記のゾーンⅠ～Ⅴを企画・運営しました。

多目的スタジオ(当日会場)のゾーン分け	
ゾーンⅠ:市民目線で伝える「愛・地球博」	
ゾーンⅡ:市民目線で考える「生物多様性緑化」	
ゾーンⅢ:市民目線で進める「緑化の担い手づくり」	
ゾーンⅣ:市民主体で実践する「フェアの賑わいづくり」	
ゾーンⅤ:市民主体で進めるための「裏方支援のあり方」	



「あいちフェア市民村」